※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１２

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校古典探究（数研出版）						
副教材等	九訂版体系古典文法・体系古典文法学習ノート（数研出版） 精選漢文・精選漢文ノート（尚文出版） 三訂版古文単語３３０（いいずな書店） 新演習古典アチーブ２　三訂新版（桐原書店） 新版六訂カラー版新国語便覧・国語便覧ワークノート（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では、１年生時で身につけたことを更に発展させた内容の授業を行います。具体的には、文章読解、古典文法、古典常識の習得等を通して、皆さんの読む力、聞く力、書く力、考える力を高めていきます。
・古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くしていきます。古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育みましょう。古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解し、文章や作品の内容を構成や展開に即して、的確にとらえられるようにしていきます。また、文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取ることを通して、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしていきます。文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しみ、古典の学習を通して、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	随筆を読み、その特徴を理解する。 ［教材］ ・方丈記 ・徒然草	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	軍記物語を読み、その特徴を理解する。音読し、そのリズムを味わう。 ［教材］ ・平家物語	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b［ 読 ］：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえながら本文を解釈し、学習課題に沿って音読に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	故事成語のもとになった文を読み故事成語とのつながりを考える。 ［教材］ ・世説新語	a：時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：故事について、粘り強く調査に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	諸子百家の思想を読み、それぞれの思想を理解する。 ［教材］ ・論語　諸子百家	a：漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b［ 読 ］：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	日記文学を読み、筆者の心情を読解する。 ［教材］ ・更級日記	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して日記文学の特徴を的確に捉えている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	物語を読み、登場人物の状況、関係性、心情を理解する。 ［教材］ ・源氏物語	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容や登場人物の関係性を的確に捉えている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	それぞれの歌を現代語訳し、その主題を考える。 それぞれの歌について、表現上の特徴をあげる。	a：和歌に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ ・古今和歌集	b[　読　]:、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c:学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。			
	項羽と劉邦の考え方の違いや行動を読み取る。 ［教材］ ・史記	a:漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	・道長の言動に対する評価整理する。 ・道隆・道兼・道長の人物像をまとめ、比較する。〞 ［教材］ ・大鏡	a:古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[　読　]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	作者の心情を読み取り、どのよう表現されているか理解する。 ［教材］ ・建礼門院右京大夫集	a:古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して作品の特徴を的確に捉えている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	文章を読読解し、筆者の思想を理解する。 ［教材］ ・漁父辞 ・桃花源記	a:漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[　読　]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:文章の主題について粘り強く考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　　)時間

・読むこと　…　(　７０　)時間